

保育所サービス評価結果記入様式

(株) 日本保育サービス 『アスクわに保育園』 第三者評価シート (評価日：令和5年11月27日・29日)

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	法人本部である(株)日本保育サービスにより、アスク保育園の運営理念、保育理念、保育方針が明確に制定されている。それに基づき、アスクわに保育園の玄関には保育理念や保育方針等々が掲示されている。保育園からは、入園にあたっての理念や方針、保育内容を保護者に説明している。保護者会はないが、今年度より年1回の運営委員会を開催し保護者に理念や保育方針の説明を行っているが、園の理念や基本方針が周知徹底されるまでには至っていない。また、行事(主に運動会・保育参観等)の際には保護者からアンケートを取っている。職員間では会議等を通じて理念等の共有に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 サービス

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	園長は、市内にある同法人の園長会で社会福祉事業全体の動向について情報収集しており、園の今後の取り組みに活かしている。また、毎月行われている「民間保育園長会」にも参加している。保育の地域的なニーズの把握は、年2回の保護者アンケートを取り、保育のプログラムに反映している。来年度は子ども園になる予定で、育児相談に反映させるために未就園児への取り組みを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3		② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	園の経営課題については、園長は法人役員会のウェブ会議に参加し、園の運営状況や課題、本部に対する要望等を伝える機会がある。園長の役割も明確化され、コスト管理、労務管理、維持費等について職員へも通知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	法人としての経営理念、コーポレートメッセージ、グループ運営理念、保育理念、保育方針は策定されている。しかし園としての中・長期計画は確認できなかった。園長は必要性を感じており、これから取り組もうと考えている。来年度は子ども園になるので園として検討する予定である。今後の取り組みを期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5		② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等が設定できている。毎月の職員会議で各クラスからの報告もあることが、会議録から確認できた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	アスクわに保育園としての運営理念、保育理念、保育方針等は事業計画書に適切に記載されている。園長は年2回(半期毎)の職員ヒヤリングを行い、各クラスの保育士等が「どういった保育をしたいのか」を確認している。事業計画の内容は職員に周知しているが、完全な理解を得るまでには至っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業計画の主な内容は、保護者に配布・掲示している。新たな取り組みについては、「園だより」等で通知している。年度末に運営委員会(保護者会)を開催しているが、次年度からは保護者会を年度初めに行い、事業計画等を保護者に説明していく方針である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	園の保育の特徴として、4歳、5歳児には、「STEAMS保育」(科学・技術・工学・芸術・数学・運動)のプログラムを実施している。また、実施事例に伴い振り返りシートを活用している。英会話教室、体操教室、ダンス教室等も実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	毎月1回開催する職員会議(議事録あり)で、保育士から意見を聞いている。また、毎月1回行っているクラス会議(主任が入る)でも改善策などについて話し合っている。職員会議や月案会議で目標に対しての振り返りを行い、計画を見直している。不適切保育研修や虐待防止セミナー等にも参加している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	園長は、法人の運営規程に基づき保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。しかし、職員会議等で職員への周知が理解されているまでには至っていない。園長は職員への理解に取り組んでいるが、有事の権限移譲が明確化されていない項目もあり、今後の業務・権限移譲の取り組みと文章化を期待します。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	(株)日本保育サービスとしての研修計画があり、園長が参加している。研修後の職員への周知は職員会議(平日昼1時間)で報告をしている。廃棄物等の研修にも参加しており、法令等も順守出来ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	☑	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
園長は、管理者としてのリスク管理を行いながら、職員・保育士等に指導・助言をしている。職員会議、クラス会議等では意見をどんどん上げてもらい、出来ることは直ぐに取り組んでいる。子ども一人ひとりの気持ちに寄り添って、「こんなにすごいが出来た」等と子どもたちを褒め、達成感や成功体験を大切にしている。保育の質向上のため、個別研修やキャリアアップ研修にも参加している。法人としての研修計画がしっかりと整っている。			☑	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			☑	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			☑	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	☑	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
園長は、職員の勤務希望やシフトの組み合わせ、担任の人事・労務などに関しては、保育士の経験を重要視している。職員会議には担任は必ず出席している。会議録は職員全員に周知しており、フィードバックできる体制も整えている。			☑	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			☑	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	☑	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
今年度は園長が保育士養成校等への学校訪問を行い、自園の目指す保育士像等を説明している。また、園のイベントに来てもらうなど工夫している。オンラインでの見学も可能にして面接へ繋げている。園長は大阪・滋賀のエリア長と連携して、入職希望調査や状況把握に努めている。			☑	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			☑	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	☑	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
園長は、職員のヒヤリング・フィードバックを年2回行っている。職員の目標に対しての振り返りは年4回実施している。職員は目標達成度を自己評価し園長に提出している。7月に自己評価(アンケート)を行い、今の仕事・雰囲気・気持ち等を確認している。また、9月・10月は意向調査も実施している。丁寧な人事管理により退職する職員が少ないことが確認できた。			☑	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			☑	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			☑	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			☑	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	☑	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
職員の有給休暇は希望通り取得できている。新人職員にはチューター制度(先輩保育士が新人保育士に対してして、1対1で指導・教育・訓練を行う)がある。新任保育士からも意見を吸い上げる工夫も出来ている。園長からも職員・各保育士に対して都度声掛けを行い、働きやすい職場づくりに努めている。1分から残業の申請を認めるなど、園長が責任をもって労務管理を行っている。年1回、メンタルヘルスソフトを活用した職員のメンタルチェックにも取り組んでいる。			☑	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			☑	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			☑	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			☑	カ	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			☑	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			☑	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	職員は「クレド(法人の行動指針)」を名札と一緒に保持しており、常に記載されている職員像を意識している。また、4月に「目標管理シート」を作成して、自分の目標・方向性等を明記している。園長との個別面談を年2回行い、自己評価を行っている。また、年4回の振り返りも実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18		② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	(株)日本保育サービスの研修計画が策定されている。その年間計画の研修内容は多岐に渡り充実している。園長は、職員が研修に参加しやすいシフトにも配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	新人職員にはチューター制度があり、様々な相談を受けて指導に当たっている。研修は参加しやすいように園長がシフト調整を行っている。研修に参加した職員はレポートを作成して報告を行い、研修内容を職員間で共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生の受け入れガイドラインがあり、滋賀短期大学、華頂短期大学等からの実習生を受け入れている。学校側と連携して積極的に実習生を受け入れている。但し実習指導者の研修は行っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	園の紹介はホームページ上でも公開されている。法人の運営理念や保育理念、保育方針等も確認できる。しかし、地域に向けた園のビジョンや役割、園が取り組んでいる活動等を、印刷物や広報誌等を通じて明示・説明する機会が手薄な状況である。今後はより積極的な地域への広報活動を期待します。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづき改善・対応の状況について公表している。
			<input type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	(株)日本保育サービスからの内部監査(ウェブ又は実地)が毎月行われている。突然の監査(抜き打ち)に来るときもある。月2回、本社へ運営データを送付するなど、園における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	園の玄関横には「園のお知らせ」が掲示されている。志賀ブロック(すこやか)広報、うりぼう通信(にじっこ)、子育て広場、なかよし広場等々で園の紹介をしている。毎週園庭開放を行っており、園に来られた方には園が紹介された広報を持ち帰ってもらっている。次年度からは、地域の学区文化祭等々にも参加して、園児の作品を掲載してもらおう方向で取り組みを考えている。地域への広報活動を期待します。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	地域の中学校と連携して、中学生の職場体験を受け入れている。法人作成のボランティアマニュアルも整備されている。目の不自由な学生を受け入れた際には、必要な個別支援を行なっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	大津市役所子ども家庭相談室と日常的に連携を図っている。虐待防止マニュアルもあり、発見時の対応方法も明示されている。「協力者会議」との連携も図られているが、地域の共通課題を把握するためにも、「まちづくり協議会」等への参画を期待します。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	毎週、園庭開放を行っている。保護者や地域の住民が来られた時は、園が紹介された広報を渡している。子育て支援への登録も呼びかけている。園開設6年目であり、地域との関係がまだ希薄でもあるため、今後は地域住民を対象とした保育支援活動を行っていく考えである。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	大津市役所子ども家庭課との関係を密にして、ニーズの把握に努めている。毎週園庭開放を行い、地域住民との交流が図れる取り組みを行っている。関係機関との情報共有化にも努めている。しかし、民生委員・児童委員等との交流が図れていない為、今後は定例会等に挨拶に行き、交流を深めて福祉ニーズの把握に努めていく方針である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	法人本部の運営理念や保育理念、園の玄関に掲示されている保育方針等にも、子どもの尊重や人権に配慮した基本姿勢が明示されている。職員は虐待防止研修や人権研修に参加している。法人作成のマニュアルも存在している。また、「人権チェックリスト」を年1回～2回実施している。各クラスの子どもたちは伸び伸びと元気に過ごしている様子が見受けられました。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29		② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	(株)日本保育サービスが策定した子どもの虐待防止、権利擁護等についての規程・マニュアルが整備されている。個人情報保護法に関しては、ホームページに掲載されている。年度初めにプライバシー保護と虐待防止研修、権利擁護研修を行っている。各マニュアルの必要などを抜粋して研修を行い、必要時は職員が手軽にマニュアルを見られるよう配慮している。子どもたちがトイレをするときは、窓やカーテンを閉めたり、おむつ交換時は周囲を衝立で囲むなど工夫することで、プライバシーの保護に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。
	園の理念や基本方針、保育内容や保育所の特徴を紹介した資料を、すこやか相談所に置いている。園に見学に来られる保護者も多く、都度資料を渡している。園の見学はウェブでも可能で、見学者に対しては1時間以上をかけて丁寧に説明をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保育の開始及び保育内容の変更時は、毎日メール(アプリ「はいちーず」)で配信している。保護者の方が育休に入る時は「何月何日より時短保育になりました」とメールで配信したり、直接保護者に伝えたりしている。特に配慮が必要な保護者への説明については、個人面談も行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	引越しなどで退園する場合は、健康記録などを転園先に提供している。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足把握に努めている。(保育所)
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
園として子どものニーズに合わせたプログラムを実施している。英会話(無料)、ダンス(有料)、体操(有料)等を行っている。感触遊びや体幹づくり、お散歩などを行っている。また、田植えやさつまいも堀なども行い、体験している写真は、玄関先の掲示板に掲載されている。保護者に対しては、満足度調査(アンケート)を年2回(運動会、保育参観時)実施している。アンケート結果は、運営委員会や職員会議等で保護者や職員に周知している。改善点があれば検証して、次年度計画に反映している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足把握を目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足把握を目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
園の玄関先にご意見箱を設置している。苦情受付担当者(主任保育士)、苦情解決責任者(園長)、第三者委員(地域関係者)2名の氏名・連絡先が、入園のご案内(重要事項説明書)に記載されている。また、第三者委員の氏名・連絡先は玄関先に掲示されている。苦情があれば「クレーム処理票」に記載している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
送迎時に保育士は保護者とのコミュニケーションが取れるよう配慮している。園だよりを活用して、面談場所や保護者への日程調整を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
園は保護者からの相談や意見を収集するため、運動会や保育参観の時にアンケート調査を実施している。「クレーム処理票」があり、苦情受付から苦情対応・解決までの一連の記録が記載され職員全員で共有している。「苦情対応マニュアル」等は整備されているが、保護者からの相談に対応するマニュアルは確認出来なかった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
「安全委員会」(0歳児・1歳児保育士担当)が設置され、毎月開催している。また、リスクマネジメント責任者は園長である。「ヒヤリハット報告書」「アクシデント報告書」を整備し、発生3日以内に本部に報告することとなっている。「けが・病気ノート」を作っており、職員が情報共有できるようにしている。法人本部のリスクマネジメント研修には園長や職員も参加している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	「感染・食中毒対応マニュアル」が作成されている。感染症予防に関しては園長を責任者として、主任、看護師、保育士等が責任をもって対応できる組織作りができています。手洗いの徹底、備品・設備の消毒も常時行われている。感染症が発生した場合は、メール配信アプリ「はいちーず」で保護者に連絡をしている。感染症対応マニュアルの見直しは、園長会や看護師会で意見交換をし、最終的には本部の「安全委員会」で見直しがされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
				<input checked="" type="checkbox"/>	ア
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
	避難計画（保育園非常災害対策計画・洪水時の避難確保計画）を策定し、立地条件〔浸水想定地域〕を想定した避難訓練も実施している。持ち出し用ファイルがあり、子ども・保護者・職員の安否確認の方法が確立されている。両親以外の迎えがあったときのため、「引き取りカード」を保護者に渡している。毛布、食料品等も備蓄されており、備蓄リストも作成されている。今年度は、駐車場に備蓄倉庫を設置する予定である。消防署の協力を得て避難訓練も実施している。今後は、地域の自治会等の協力が得られるよう検討している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)		
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	
	法人本部策定の保育マニュアルが整備されている。そのマニュアルを参考にして、新人は動画も見ながら保育理念・保育方針等を学ぶようになっている。標準的な実施方法についてはチェックリストがあり、チェックリストの結果を毎月の職員会議で意見交換をしている。本部から毎月内部監査があり、抜き打ちでの監査もある。保育内容を確認するシステムは法人全体で構築されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)	
				<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。	
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。	
	(株)日本保育サービスによる年2回のアンケート調査が行われている。アンケート内容の結果は、園の玄関先にある掲示板に掲示している。アンケート結果から改善が必要と思われる内容については、直ぐに取り入れるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)		
42		① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
	指導計画策定の責任者は園長である旨は明記されている。保育実践に対してアセスメントを実施し、クラス会議で課題を出して改善に繋げている。支援が必要な子どもに関しても、園長・主任・保育士・看護師・すこやか相談所保健師が協議を行っている。療育で仕事をしていた保育士もいて、保育実践に裏付けができる保育を行っている。栄養士は保育参観のあと、食育教育も行っている。支援困難なケースに対しては、保護者からの意見を聞き「こうしたい」という意向を踏まえた計画を立てている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)	
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)	
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)	
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)	
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)	
				<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	指導計画を見直す時期として年2回の個別面談により保護者の意向を把握している。また、本部からの発達支援チームの年2回の巡回がある。支援として制度を利用できる子どもと利用できる子どもがいるが、その子ども一人ひとりの発達に応じた計画作成を工夫し、その都度臨機応変に見直しを図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	個別指導計画を策定し、発達記録・児童票を作成している。記録については、記録の書き方研修がある。新任保育士は新人研修を受け、先輩保育士からも記録内容について確認をってもらう指導手順も整っている。連絡ノートは職員間で共有されており、問題点等が発生した場合は、ミニ昼礼を行い即時対応に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	法人本部による「個人情報保護規定」「個人情報保護マニュアル」が作成されている。各職員は、個人情報保護研修に参加している。園からの持ち出しの注意点も明確にされている。各職員のカバンは透明のケースにして、何を持って出ているか中身が見えるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

【内容評価基準】

IV-1 保育内容

IV-1-(1) 全体的な計画（保育課程）の編成		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口にチェック）
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画（保育課程）を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画(保育課程)は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画(保育課程)は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	「保育の内容に関する全体的な計画」は、アスクわに保育園の保育理念や保育方針に則って詳細に記載されている。作成には職員も参画し、都度評価も行っている。子どもの家庭状況によっては、保護者の勤務がフレックス制になるなど個々の状況に応じて、保育時間の変更などにも都度対応している。延長保育にはその都度シフト変更も行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画(保育課程)は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画(保育課程)は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 全体的な計画(保育課程)は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口にチェック）
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	(株)日本保育サービスは全国に約300か所の保育施設を運営している。法人として必要な運営規程や各種マニュアルは整備されており本部の巡回チェックもある。保育環境を保つための「消毒の仕方マニュアル」が作成されている。アスクわに保育園は開設6年目であり、建物全体がきれいで各クラスの部屋も整理整頓されている。保育室は明るく、手洗い場・トイレも綺麗に保たれ清潔感もあった。用具・寝具も新しく衛生管理に努めている。0歳児が午睡できる環境も十分に整っていた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	アスクわに保育園では、各クラスの子どもたちは伸び伸びと活動していた。笑顔がいっぱいみられ活気があふれており、保育士は子どもたちの欲求を受け止め、子どもたちの「やりたい」ことを引き出す保育を行っている。保育士から子どもたちへの声掛けを大切にしており、制止する言葉は使用しないように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	園では子どもの発達過程に応じた保育を行っている。1歳児・2歳児に対しては、看護師・保育士・栄養士等が参画し、手洗いやトイレの使い方が身に付けられるように援助している。トイレに関しては、その子供のタイミングを見て誘導している。看護師は歯磨きなどの生活習慣の習得にも携わっている。保育士は話し方や絵本の読み聞かせを行いながら、生活習慣が会得できるように努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	アスクわに保育園では「STEAMS保育」を取り入れている。課題解決型学習プログラムを取り入れることで、子どもたちが自主的・自発的に遊びができる環境を整えている。子供たちの自発的発言に対しては「やってみようか」という合言葉で積極的に取り組んでいる。体操クラブ、体育クラブ、制作クラブもあり、縦割り保育を行うことで異年齢の子どもたちと一緒に活動している。自然豊かな環境の中に園があるため、琵琶湖岸への散歩に行き、ゆりかもめを見たり、ドングリを拾ったりしている。遠足は交通機関を使って、皇子が丘公園に行ったり水族館に行ったりもしている。交通安全教室を開催して、社会的ルールを学ぶ取り組みも行っている。園外での活動には、担任保育士とフリーの保育士を入れ事故等に配慮している。コロナ感染の余波を受け、地域社会との交流はこれからである。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

51	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	園は6か月からの子どもを受け入れている。床暖房設備を整え、床はクッションフロアを敷いている。だるまさんの絵本の読み聞かせや歌を歌い、発達過程に応じた保育を行っている。家庭との連携を大切にしており、保育士の担当を早い周期で変えないよう配慮している。子どもが視覚的にわかりやすく興味関心を持てるよう工夫している。また、健診の情報も保育に活かせるようにしている。マットを使つてのハイハイなども積極的に取り入れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に ⑥ 育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	1・2歳児の子どもたちは、成長に伴って出来るが増えてくる。さらにトラブルも増えてくる。言葉での解決も難しいが、そういったことを十分に理解して、保育士が自我の育ちを受け止め適切に対応している。薬が飲めない子供を預かる時もあり、保育士は子供に寄り添って薬が飲めるように辛抱強く関わっている。コロナ禍前は栄養士も子供たちと関わっていたが、現在は中止している。今後は状況を見計らって再開する予定である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切に関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に ⑦ 展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	遊び好きで元気な子どもたちが多く、運動会ではテーマを決めて、鉄棒をしたり体感遊び等を取り入れている。3歳児は、配慮が必要な子どもが多い年齢ではあるが、元気な子どもが多い。感情のコントロールが難しい時もあり、興味・関心に寄り添いながら保育している。4歳児は、子どもたちの中の違いに気づく年齢でもある。5歳児にもなるとまとまりができて、世話好きな子どもが多くなる。運動会ではリレー競争を取り入れて、仲間と協力し合ってやり遂げられる内容の競技も取り入れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	園では障害のある子どももクラスの中で一緒に育つように配慮している。特に保育士とのスキンシップを大切に、障害のある子どもが穏やかに過ごせるような体制を整えている。3歳児以上の担任は、障害のある子どもの保育についての研修を受け、レポートを提出し保育士間での情報共有を図っている。保護者が精神的にしんどくなっていると思われる時は、保育士から積極的に声掛けを行い、相談が受けられる体制を整えている。医療機関、専門機関とはしっかりと連携を図り、子ども子育て安心課とも連携している。要対協との連携ケースもある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	保育時間が7時(朝延長)～20時(夕延長)と長いので、子どもたちの好きな遊びを取り入れ個別対応をしている。夕方の延長になっていくと少人数になるので、子どもたちが穏やかに過ごせるよう、家庭的な雰囲気づくりを大切にしている。また、異なる年齢の子どもたちと触れ合う機会を設けており、保育士がしっかりと傍で寄り添い対応をしている。当日17時までに申し込みすることで夕食を用意(有料)している。保護者からの急な延長保育希望に対しては、園長が職員のシフト調整を行っている。子どもたちの状況に関しては、保育士間での引継ぎノートを活用し情報共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

56	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見直しを持てる機会が設けられている。
	年間計画に小学校との連携を取り入れている。3歳児から年齢に応じた学習する機会を作っている。(例：けんぱ、カルタなど競技を用いたもの) 5歳児は小学校就学に向けて学習面の準備として、学習ドリルを1冊やりきるようにしている。保育参観・クラス参観等で保護者との連携を図り、年2回の個別懇談も行っている。学童保育との連携も図り、ウェブで年4回の交流や、ウェブカルタ大会も開催している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見直しを持てる機会が設けられている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	看護師が朝のラウンドで、健康観察を行っている。また、午睡が可能かの判断も行っている。保育士等は乳幼児突然死症候群に関する研修に参加している。0歳児は5分毎、1~2歳児は10分毎に睡眠状態を観察している。保護者へのリスクに関する説明も行っている。入園時の「健康調査票」を担当が変わっても情報共有ができるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関する必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	毎月、身体測定や内科・歯科検診を順次行っている。個人健康記録に記載し、保護者へも健康診断の結果を伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	法人として「アレルギー対応マニュアル」を策定している。看護師が常時勤務しているため、発生時は「食物アレルギー症状対応カード」に基づき、保育士等との連携が図られている。アレルギーのある子どもに対しては、主治医の指示書をもとに対応している。抗アレルギー薬の与薬に関しては、保護者からの同意書ももらっている。アレルギーのある子どもの食器は色を変えて、職員間でのダブルチェック体制を取っている。アレルギーに関するキャリアアップ研修も行っている。発生時の経過記録も書き残している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食育計画に沿ったメニューがあり、行事毎の食事を作っている。また、各地の郷土料理を作って子どもたちに提供することで、食への興味に繋げている。離乳食については、担任保育士と保護者・栄養士との連携を図っている。園庭に植えた野菜なども、子どもたちと一緒に収穫して料理に活かしている。保護者に給食のレシピを渡すなど、保護者への食育案内も行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
法人としての「衛生管理マニュアル」「保育士衛生マニュアル」が作成されている。各行事や季節感を感じられるメニューを提供している。また、全国各地の郷土料理も提供している。残食の記録表もしっかりと残されている。コロナ禍以前には、栄養士が子どもたちと一緒に食事を摂っていたが、現在は中断している。クッキングの時には栄養士が子どもたちから個別にメニューなどの話を聞き取っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
送迎時などで保護者との会話の機会を多く持ち、家庭との連携に努めている。園だよりでも子どもの情報を伝えている。保育参観では保護者と子どもたちと一緒に体操などを行い、子どもの成長を共有できるようにしている。保護者からの相談事案については、園長が記録に残している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
			IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
アスクわに保育園の取組として、保護者が布団などの持ち帰りの荷物を少なく出来るよう配慮している。また、保護者の勤務状況に合わせて、17時以降の延長保育もしている。送迎時には、保護者との挨拶だけでなく相談をしてもらえ易いように保育士等は心掛けている。今回のアンケート調査でも「日常的な情報交換に加え、別の機会を設けて相談に応じたり、個別面談が行われていますか」の問いに、ほぼ全員の保護者が「相談しやすい」と回答しています。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
			IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
法人による「虐待防止マニュアル」が作成されている。また、新人保育士への虐待防止等の研修を始めとして、各保育士が虐待防止研修に参加して自己研鑽を行っている。実際に虐待の疑いが見られた場合の情報共有も図られ、子ども・子育て安心課や児童相談所等の関係機関との連携が取れる仕組みも整っている。職員による虐待についても、園長・主任・クラスリーダーで検討を重ね、職員にどう伝え行くか仕組みを作っている。具体的な事例を上げた研修も行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り自己評価を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組み過程に配慮している。
保育士等の自己評価を年2回実施し、年4回の振り返りを行っている。年間研修計画も整っており、研修を受けやすい環境である。園の保育目標でもある「たくましく遊ぶ子ども」「思いやりのある優しい子ども」「自分で考え行動できる子ども」を育てるための、保育の改善と専門性の向上に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。